

平成26年10月の「思いやり通信」

太陽光 損失1/6に — 故障や汚れ遠隔監視



システム開発のファースト・デザイン・システムは、太陽光発電所の収入を高く維持できる監視システムを開発しました。

パネルの故障や汚れを遠隔地から察知し、売電収入の損失を未対策の場合と比べて20年間で6分の1に低減します。

(2014年9月22日 日本本経済新聞記事から抜粋)

中国電力、西日本全域で販売 — 電力の越境 本格化

割安で100万キロワット規模



中国電力は関西や九州、四国での電力販売に乗り出します。

2016年4月の家庭向けの電力小売り自由化に合わせ、域内の電力消費量の1割に相当する100万キロワット規模の電気を域外で販売する構えです。

(2014年9月27日 日本本経済新聞記事から抜粋)

再生エネ優遇見直し — 政府検討

太陽光の買い取り 四国電力も保留へ



政府は、再生可能エネルギーによる発電を優遇する固定価格買い取り制度を見直します。大規模な太陽光発電所の普及が行き過ぎ、電力各社が企業からの新規買い取りを中断する事態に陥りました。

(2014年9月27日 日本本経済新聞記事から抜粋)